



令和 8 年 3 月 3 日

報道関係各位

令和 8 年度一般会計当初予算について

1. 予算規模

令和 8 年度一般会計予算 5,449,001 千円

(参考) 令和 7 年度一般会計予算 (当初) 5,745,311 千円 (差 ▲296,310 千円)

2. 主要な事業について

◆教育・子育て環境の整備

(1) 新・学校給食センター（仮称）建設事業（404,827 千円）

前年度に引き続き、建設工事を進める。令和 8 年度 2 学期からの稼働を予定している。

(2) 小学校統合に向けた準備（6,867 千円）

令和 9 年 4 月の小学校 1 校体制化に向けた準備を行う。統合準備委員会の開催や通学路の調査、スクールバスのダイヤ編成などの総合的な支援を委託する。また、児童の学校間交流事業を実施する。

◆産業の振興

(3) 「道の駅みなの」リニューアル事業【新規】（6,300 千円）

農業・産業の出口となり、付加価値を提供して域外収入を獲得できる経済的な拠点になるように大規模リニューアルを行う。企画財政課内に「道の駅リニューアル担当」を設置するとともに、地域活性化起業人を委嘱する。

(4) ビジネスコンテストの開催【新規】（1,540 千円）

皆野町のブランド力の向上を目的に、特産品を創出するためのビジネスコンテストを開催する。経営革新計画において商品開発から販売戦略まで策定することで、商品開発で終わることなく、着実に特産品として根付くことを目指す。

◆生活環境の整備、安心・安全なまちづくり

(5) 地域公共交通の再編・運行見直し（74,936 千円）

地域公共交通計画や利便増進計画に基づき、地域公共交通の再編を行う。令和 7 年度中に、町営バスのルートやダイヤの見直しや、デマンドタクシーの実証運行を行った。それらを踏まえ、町営バス運行の再編に必要なバス停などの整備や、デマンドタクシーを本格的に稼働させていく。

(6) 防災行政無線同報系システム設備更新 (167,205 千円)

前年度に引き続き、耐用年数を迎えた防災行政無線の機器を更新する。財源として緊急防災・減災事業債を活用し、令和7年度から令和9年度までの3年間で順次更新する。

◆いきいきした生活の実現

(7) 女性の健康応援事業【新規】(1,614 千円)

ライフステージに応じた女性特有の健康課題に対し、正しい知識の普及や継続した健康習慣の醸成を図る。外部講師による健康力向上セミナーや健康を支えるレシピの料理教室、骨密度検査の要注意者に向けた個別受診勧奨などを行う。

(8) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (3,479 千円)

要介護要因や医療費の増大要因として骨折が上位にあることを踏まえ、骨粗しょう症ハイリスク者や転倒ハイリスク者に焦点を当て、訪問受診の勧奨や保健指導を実施し、骨折予防に取り組む。

(9) がん患者アピアランスケア用品購入補助【新規】【対話から事業化】(100 千円)

がん治療に伴う外見の変化を受けたかたへの支援として、アピアランスケア用品（ウィッグや胸部補正具など）の購入費用の一部を助成する。

◆地方創生・共創のまちづくりの推進

(10) 地域おこし協力隊の委嘱 (74,080 千円)

引き続き、コミュニティづくり、生涯学習の推進、こどもの居場所づくり、移住支援、有害鳥獣対策、観光を通じた地域活性化、地域のデジタル化支援の分野で委嘱する。

(11) 地域活性化起業人の委託 (13,550 千円)

引き続き、地域のデジタル化支援、共創のまちづくり、空き家・空地の利活用の分野で委嘱する。(※「道の駅みなの」リニューアル事業分は「(2) 産業の振興」に記載。)

3. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業

(1) 中小企業応援補助金 (15,000 千円)

物価高騰の影響を受けている中で、新たな取り組みに挑戦する事業者を支援する。

(2) 住宅リフォーム資金助成金 (5,000 千円)

住宅のリフォーム工事費用を補助する。補助額を「一律5万円」から「工事価格の10% (上限15万円)」に見直す。

(3) 大学生等保護者支援金 (3,017 千円)

大学生等を養育する保護者に対して2万円の支援金を給付する。

【問い合わせ】

企画財政課 財政担当 小池・引間
電話：0494-26-7334 FAX：0494-62-2791



令和8年度 皆野町予算大綱

令和8年3月5日
皆野町長 黒澤 栄則

1 予算編成の基本的な姿勢

(1) これまでの取組

皆野町では人口減少・少子高齢化が進行する中でも、「対話・チャレンジ・幸せの向上」を基本姿勢として、住民福祉の向上や地域活性化のために、将来を見据えたまちづくりを進めてきた。特に令和7年度から令和8年度にかけては、時代の変化に合わせて行財政基盤を整えるための大きな事業に着手している。

まず、従来から課題となっていた勤労福祉センターの廃止や小学校統合に取り組んだ。いずれも単なる縮小ではなく、将来にわたって持続可能な行政サービスとしての在り方を見据えての決断である。加えて新しい学校給食センターの建設も、町としては近年稀に見る大型事業となったが、無事に着工することができた。

また、地域公共交通についても、計画策定を経て、デマンドタクシーの実証運行が実現できた。長らく町民・議会から改善の声が上がっていた分野において、着実な一步を踏み出した。

さらに、移動販売の導入、単身高齢者などのごみ捨て支援、事業者への支援制度など、町民や事業者に寄り添った施策の充実を図った。また、新たな取組以外にも、窓口業務や定型的な業務、ケース対応、児童・生徒などの対応も含め、「町民の幸せの向上」に向けた取組を進めてきた。

(2) 令和8年度における施策の方向性

引き続き「対話・チャレンジ・幸せの向上」をもとにまちづくりを進めていく。

令和7年度から継続して、小学校の統合、新しい学校給食センターの建設といった教育環境の充実に向けた取組を着実に進めていく。加えて、地域公共交通の利便性向上においても、デマンドタクシーの本格導入や町営バスの再編などを行っていく。

また、人口減少や少子高齢化などの町の状況を踏まえ、将来を見据えた新たな取組にもチャレンジしていく。具体的には「道の駅みなの」のリニューアルに着手する。道の駅を農業・産業の出口に位置づけ、付加価値を提供して域外収入を獲得し、地域でお金を循環させる経済的な拠点を目指すほか、町のPRや町民のコミュニティの場としても活用していく。敷地の拡張と併せた一帯の再開発という大きな事業になるが、町の将来を見据えたチャレンジとして取り組んでいく。

第3期皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「一人ひとりが主役になり、みんなで幸せを育むまち」というビジョンを掲げた。そして、その実現に向けたスローガンを「#みんなで皆野」としたところである。子どもも大人も、町民も企業も役

場も、それぞれの立場でまちづくりに参画し、幸せの向上につなげていくという姿勢を示している。その実現に向けた施策にも着手していく。

2 予算規模

令和8年度一般会計予算 5,449,001 千円

(参考)

令和7年度一般会計予算（当初） 5,745,311 千円（差▲296,310 千円）

3 重点施策

- (1) 教育・子育て環境の整備
- (2) 産業の振興
- (3) 生活環境の整備、安心・安全なまちづくり
- (4) いきいきとした生活の実現
- (5) 地方創生・共創のまちづくりの推進

4 重点施策の主な事業

※特に記載がないものは一般会計予算

(1) 教育・子育て環境の整備

- | | |
|--|------------|
| ① 新・学校給食センター（仮称）建設事業 | 404,827 千円 |
| 前年度に引き続き、建設工事を進める。令和8年度2学期からの稼働を予定している。 | |
| ② 小学校統合に向けた準備 | 6,867 千円 |
| 令和9年4月の小学校1校体制化に向けた準備を行う。統合準備委員会の開催や通学路の調査、スクールバスのダイヤ編成などの総合的な支援を委託する。また、児童の学校間交流事業を実施する。 | |
| ③ 学童保育所の統合 新規 | 1,685 千円 |
| 小学校統合に合わせ、学童保育所を統合するための準備を行う。床フローリング化工事などの保育環境の整備に加え、子育て支援拠点と国神学童保育所を入れ替える。 | |
| ④ 子育て応援事業（紙おむつ・粉ミルクの給付） 拡充 | 1,560 千円 |
| 出生後の経済的な負担を支援するため、紙おむつまたは粉ミルクの給付を行う。現在、対象としている「出生～1歳の誕生月(計13回)」を「出生～1歳6か月の誕生月(計19回)」に拡充することで、さらなる子育て世帯への経済的負担の軽減を図る。 | |

(2) 産業の振興

- | | |
|---|----------|
| ① 「道の駅みなの」リニューアル事業 新規 | 6,300 千円 |
| 農業・産業の出口となり、付加価値を提供して域外収入を獲得できる経済的な拠点になるように大規模リニューアルを行う。企画財政課内に「道の駅リニューアル担当」を設置するとともに、地域活性化起業人を委嘱する。 | |
| ② ビジネスコンテストの開催 新規 | 1,540 千円 |
| 皆野町のブランド力の向上を目的に、特産品を創出するためのビジネスコンテストを開催する。経営革新計画において商品開発から販売戦略まで策定することで、商品開発で終わることなく、着実に特産品として根付くことを目指す。 | |
| ③ 事業承継支援事業（アトツギ支援補助金） 新規 | 1,000 千円 |
| 事業継承を支援するため、補助金を交付する。加えて、移住フェアなどへの出展時に事業継承を前提とした移住のPRを行うなど、広く後継者を募る。 | |
| ④ 農業スタートアップ事業 新規 | 1,150 千円 |
| 新たに農地を取得し、新規に農業を始める方を対象として初回の耕耘経費を補助し負担軽減を図る。また、道の駅みなの農産物直売所への出荷者に対して農機具の購入を支援する。 | |

(3) 生活環境の整備、安心・安全なまちづくり

- ① **地域公共交通の再編・運行 見直し** 74,936 千円
地域公共交通計画や利便増進計画に基づき、地域公共交通の再編を行う。令和7年度中に、町営バスのルートやダイヤの見直しや、デマンドタクシーの実証運行を行った。それらを踏まえ、町営バス運行の再編に必要となるバス停などの整備や、デマンドタクシーを本格的に稼働させていく。
- ② **防災行政無線同報系システム設備更新** 167,205 千円
前年度に引き続き、耐用年数を迎えた防災行政無線の機器を更新する。財源として緊急防災・減災事業債を活用し、令和7年度から令和9年度までの3年間で順次更新する。
- ③ **町道・林道・橋りょうの維持及び改良** 165,998 千円
狭あい道路の改良や、舗装補修工事、橋りょうの点検・補修を進め、安全で快適な道路環境を確保する。

(4) いきいきとした生活の実現

- ① **女性の健康応援事業 新規** 1,614 千円
ライフステージに応じた女性特有の健康課題に対し、正しい知識の普及や継続した健康習慣の醸成を図る。外部講師による健康力向上セミナーや健康を支えるレシピの料理教室、骨密度検査の要注意者に向けた個別受診勧奨などを行う。
- ② **高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施** 3,479 千円
要介護要因や医療費の増大要因として骨折が上位にあることを踏まえ、骨粗しょう症ハイリスク者や転倒ハイリスク者に焦点を当て、骨密度検査の受診勧奨や転倒予防指導を実施し、骨折予防に取り組む。
- ③ **がん患者アピランスケア用品購入補助 新規 対話から事業化** 100 千円
がん治療に伴う外見の変化を受けたかたへの支援として、アピランスケア用品（ウィッグや胸部補正具など）の購入費用の一部を助成する。
- ④ **特定保健指導** 【国保特会】
830 千円
特定保健指導の改善効果を高めるため、専門性の高い RIZAP と連携し、ICT を活用したオンライン保健指導を実施する。対象者に合わせた食事管理や運動習慣の定着を促し、メタボリックシンドロームや生活習慣病予防を図る。
- ⑤ **脳の健康度チェック** 【一般会計】
176 千円
【国保特会】
381 千円
認知症は初期症状のうちに発見し、早期に対策を講じることで認知機能の改善や認知症の進行を遅らせることができるため、健診結果説明会において脳の健康度チェックを併せて実施する。

(5) 地方創生・共創のまちづくりの推進

- | | |
|---|-----------|
| ① 地域おこし協力隊の委嘱 | 74,080 千円 |
| 引き続き、コミュニティづくり、生涯学習の推進、こどもの居場所づくり、移住支援、有害鳥獣対策、観光を通じた地域活性化、地域のデジタル化支援の分野で委嘱する。 | |
| ② 地域活性化起業人の委嘱 | 13,550 千円 |
| 引き続き、地域のデジタル化支援、共創のまちづくり、空き家・空地の利活用の分野で委嘱する。
(「道の駅みなの」リニューアル事業分は「(2) 産業の振興」に記載。) | |
| ③ まちづくりアンケート調査 新規 | 1,704 千円 |
| 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標の進捗度の把握や、町政に対する住民の反応やニーズの把握を目的として、毎年実施する。 | |
| ④ ライフプランニングセミナーの開催 新規 | 1,650 千円 |
| 主に就職後～30代の若者を対象として、セミナーや自分に向き合うワークショップを開催する。理想の生活スタイルを主体的に実現しようとする若者の育成を図る。 | |
| ⑤ 同窓会補助金 新規 | 480 千円 |
| 町出身の同窓生が集まり、交流する機会を創出する。町外在住者が再び町を訪れたり、関係人口として町に関わり続けたりするきっかけづくりとする。 | |
| ⑥ 行政区活性化支援補助金 対話から事業化 | 1,080 千円 |
| 行政区において、地域の活性化や課題解決のために実施した事業に対して補助金を交付する。 | |

5 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業

以下の事業の財源として充当します。(歳入：18,837 千円)

- | | |
|--|-----------|
| ① 中小企業応援補助金 | 15,000 千円 |
| 物価高騰の影響を受けている中で、新たな取り組みに挑戦する事業者を支援する。 | |
| ② 住宅リフォーム資金助成金 | 5,000 千円 |
| 住宅のリフォーム工事費用を補助する。補助額を「一律5万円」から「工事価格の10% (上限15万円)」に見直した。 | |
| ③ 大学生等保護者支援金 | 3,017 千円 |
| 大学生等を養育する保護者に対して2万円の支援金を給付する。 | |

計 23,017 千円

6 一般会計予算の概要

(1) 歳入

○自主財源

前年度と比較して176,832千円増額の1,662,835千円を計上し、歳入全体に占める割合は30.5%となりました。

款15繰入金は前年度より減額となっていますが、主なものとして、新・学校給食センター（仮称）建設事業の財源とする公共施設整備基金繰入金121,065千円を計上しています。また、歳入歳出差引額の調整のための財政調整基金繰入金236,203千円を計上しています。

なお、主たる自主財源である町税は、個人町民税の所得割が前年度より20,888千円増額となっていることが要因で、全体では25,310千円の増額を見込んでいます。

○依存財源

前年度当初予算と比較して119,478千円増額の3,786,166千円を計上し、歳入全体に占める割合は68.5%となりました。

款10地方特例交付金は、軽自動車税環境性能割廃止の補填分があるため、前年度から13,346千円の増額を見込んでいます。

款11地方交付税は、国の交付税予算の動向を踏まえた普通交付税の増額や地域おこし協力隊、地域活性化起業人などの経費に対する特別交付税措置を見込み、前年度から160,327千円の増額を見込んでいます。

款22町債は新・学校給食センター（仮称）建設事業や防災行政無線同報系システム設備更新事業など、大規模事業の財源として496,575千円を計上しています。

○主な費目の概要

款1 町税

前年度から25,310千円増額の1,096,623千円を計上しています。各税目で課税実績などに基づく積算を行っています。

款7 地方消費税交付金

県から示された交付見込額に基づき、前年度から19,000千円増額し253,000千円を計上しています。うち、一般財源分として120,000千円、社会保障財源化分として133,000千円を見込んでいます。

款9 環境性能割交付金

令和8年度の環境性能割の廃止に伴い、前年度から10,629千円の減額の140千円を計上しています。なお、減収補てん分を「款10 地方特例交付金」で計上しています。

款 10 地方特例交付金

環境性能割廃止に伴う減収補てん分として、前年度から 13,366 千円増額の 160,327 千円を計上しています。

款 11 地方交付税

前年度から 160,327 千円増額の 2,109,172 千円を計上しています。国から示された増減率や地方交付税全体の動向などを勘案し、普通交付税は 138,667 千円増額の 1,912,091 千円、特別交付税は 21,660 千円増額の 197,081 千円を計上しています。

款 15 国庫支出金

前年度から 30,797 千円減額の 479,564 千円を計上しています。減額の主な要因は、前年度の当初予算で計上していた地域公共交通確保維持改善事業費補助金を見込まなくなったことなどによるものです。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は 18,837 千円を計上しています。

款 16 県支出金

前年度から 10,456 千円減額の 315,214 千円を計上しています。クビアカツカミキリ対策事業費に対する補助金として、ネイチャーポジティブ推進事業補助金 1,277 千円を新たに計上しています。

款 19 繰入金

前年度から 146,971 千円減額の 372,070 千円を計上しています。内訳は、公共施設整備基金繰入金 121,065 千円、地域福祉基金繰入金 7,753 千円、図書購入基金繰入金 49 千円、財政調整基金繰入金 236,203 千円、森林環境整備基金繰入金 1,000 千円、減債基金繰入金 6,000 千円です。公共施設整備基金繰入金は、全額を新・学校給食センター（仮称）建設事業に充当します。

款 22 町債

前年度から 272,225 千円減額の 496,575 千円を計上しています。令和 7 年度に引き続き、新・学校給食センター（仮称）建設事業の財源として過疎対策事業債を 282,200 千円、防災行政無線同報系システム設備更新事業の財源として緊急防災・減災事業債を 167,200 千円計上したほか、情報機器の賃貸借に係る財源として、過疎対策委事業債を 17,900 千円、消防団の小型動力消防ポンプ付水槽車の更新事業の財源として、防災対策事業債を 24,375 千円計上しています。

(2) 歳出

款2 総務費

前年度から 32,446 千円減額の 873,845 千円を計上しています。デマンド交通運行に係る委託料 19,331 千円や庁舎の照明のLED化に係る経費として、13,701 千円を新たに計上しています。また、地域おこし協力隊委託料として、50,080 千円を計上しています。

款3 民生費

前年度から 74,170 千円増額の 1,558,490 千円を計上しています。継続費で設定している事業として、地域福祉計画策定事業委託料 2,992 千円、障害者計画策定事業委託料を 3,960 千円計上しています。また、町立小学校の統合に併せて学童保育所の統合を行うため、必要となる経費も計上しています。

款4 衛生費

前年度から 131,885 千円減額の 551,517 千円を計上しています。減額の主な要因は、秩父広域市町村圏組合への上水道広域化施設整備事業出資金が令和7年度で区切りを迎えたためです。一方で、広域市町村圏組合清掃費負担金は、前年度より 4,955 千円増額の 72,176 千円となっています。

款6 農林水産業費

前年度から 7,977 千円減額の 112,287 千円を計上しています。林道雨乞曾根坂線及び二本木線の改良工事費 20,000 千円のほか、林道奈良尾線の補修工事費 7,500 千円などを計上しています。

款7 商工費

前年度から 10,601 千円減額の 91,363 千円を計上しています。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業として、中小企業応援補助金 15,000 千円を計上しています。また、産業振興の事業として、アトツギ支援事業補助金 1,000 千円や皆野町特産品創出事業（ビジネスコンテスト）1,240 千円を新たに計上しています。

款8 土木費

前年度から 7,345 千円増額の 227,939 千円を計上しています。前年度に引き続き、新・学校給食センター（仮称）建設事業の財源確保のため、工事請負費全体の調整をしており、町道の補修・改良などに係る経費を削減しています。

款9 消防費

前年度から 706 千円減額の 488,430 円を計上しています。前年度に引き続き、防災行政無線同報系システム設備更新工事費 167,205 千円を計上しています。また、小型動力

消防ポンプ車の更新事業費として 32,500 千円を計上しています。なお、広域市町村圏組合消防費負担金は、消防指令システム情報系部分更新事業などによって、前年度より 17,035 千円増額の 236,950 千円となっています。

款 10 教育費

前年度から 251,674 千円減額の 1,120,209 千円を計上しています。新・学校給食センター（仮称）建設に係る事業費の年割額が前年度に比べて低いことや、令和 7 年度に勤労福祉センター（ふれあいプール・ホット）を閉館したことが減額の要因となっています。主な事業としては、前年度からの継続事業である新・学校給食センター（仮称）建設事業費 403,265 千円や国神小学校と三沢小学校の閉校記念事業 6,465 千円を計上しています。

7 基金残高

（単位：千円）

基金名	令和 7 年度末 現在高（見込）	令和 8 年度中の増減		令和 8 年度末 現在高（見込）
		積立額	繰入額	
財政調整基金	1,363,948	2,823	236,203	1,130,568
減債基金	519,621	827	6,000	514,448
災害見舞基金	7,925	100	0	8,025
地域福祉基金	200,560	552	7,753	193,359
公共施設整備基金	547,233	1,079	121,065	427,247
ふるさと水と土保全対策基金	1,876	6	0	1,882
図書購入基金	49	1	49	1
学校教育施設整備基金	652	140	0	792
森林環境整備基金	12,446	25	1,000	11,471
合計	2,654,310	5,553	372,070	2,287,793